

【特集】

どんと来い、 肺がん診療

それぞれの立場で患者を支えるために

企画：立石知也

【Chapter 1】

肺がん up to date : どんと来い、最新の診断と治療

182	切除不能肺がんの治療ラインの流れ 「肺癌診療ガイドライン 2024 年版」を踏まえて	久金 翔・清家正博
188	【Tea Break】TTF-1(－) 肺がん	桐生辰徳
189	通常診療における遺伝子検査の進め方 コンパニオン診断薬，がんゲノムプロファイリング検査	渡邊広祐・鹿毛秀宣
195	EGFR 遺伝子変異/ALK 融合遺伝子陽性 非小細胞肺がんの治療選択	丹生谷究二郎・柳谷典子
199	【Tea Break】EGFR エクソン 20 挿入変異	高倉敏彰
200	比較的まれな遺伝子異常の治療 ROS-1, MET, KRAS, RET, HER2, NTRK	安田浩之・濱邊健多
207	肺がんにおけるがんゲノムプロファイリングの 現状と展望	出光玲菜・善家義貴
214	術前治療と病理学的完全奏効(pCR)	堀之内秀仁
219	術後放射線療法	佐田諭己・鈴木秀海
223	【Tea Break】微小残存病変(MRD)解析の今後	唐崎隆弘
224	小細胞肺がんの治療	清水理光・峯岸裕司

【Chapter 2】

肺がん治療に伴う全身症状： どんと来い、他科症状・他科疾患

231	肺がん治療中に出会う他科症状には どのようなものがあるか	立石知也
234	【呼吸器領域】薬剤性肺炎①(抗がん薬)	青野純典
238	【呼吸器領域】薬剤性肺炎② (免疫チェックポイント阻害薬)	田中志樹 ほか
242	【脳神経領域】頭痛，麻痺，認知機能低下 肺がんに伴う中枢神経症状	後藤貴子・三浦義治

248	〔整形外科領域〕局所痛，しびれ	神田裕太郎・角谷賢一郎
255	〔耳鼻咽喉科領域〕嗄声，嚥下障害	藤崎綾衣子・上羽瑠美
261	〔内分泌領域〕免疫チェックポイント阻害薬による 薬剤性の内分泌機能障害	岩間信太郎
266	〔皮膚科領域〕薬剤性皮膚障害	竹之内辰也
272	〔循環器領域〕がん薬物療法の心血管有害事象 (CTR-CVT)	坂東泰子
278	〔消化器領域〕薬剤性大腸炎，薬剤性の下痢	浜本康夫
284	〔消化器領域〕薬物性肝障害および肝炎 免疫介在性有害事象を中心に	丸本雄太
290	〔腎臓領域〕薬剤性腎障害	酒井 瞳
	〔Chapter 3〕 まれな肺がんの topics：どんと来い，希少がん	
297	胸部 SMARCA4 欠損未分化腫瘍	新野祐樹
300	肺カルチノイド	戸田嶺路・川上正敬
	〔鼎 談〕	
303	高度に専門化する肺がん診療にどんと構えるために チーム医療，共同意思決定，薬の選び方 立石知也〔司会〕・田中健介・池田 慧	
〔連載〕	医療の不確実性に向き合う 不明・複雑・変わりゆく病状，正解がわからないときにどう対応するか 第 2 回 ケース①：慢性疲労症候群と思ったら	徳増一樹 313
	内科医のための睡眠外来入門 CASE 7.「寝ているときに無意識に動いているかもしれません」	立石知也 321
	イメージで捉える呼吸器疾患 第 25 回 急性膿胸「急に息苦しさとおの痛みを感じるようになりました」	皿谷 健 327
	Focus On 高血圧の温泉療法プログラム	山崎 聡 332
〔投稿〕	Photo Report 肺塞栓症をきたしたびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫(DLBCL)の 1 例	河合将尉 271
	症例 胸水貯留を契機に診断された神経線維腫症 1 型に伴う 悪性末梢神経鞘腫瘍の 1 例	岩本和馬 337
〔書評〕	NEJM Clinical Problem-Solving：Taro の“別解” 結核診療ガイドライン 2024	清田雅智 229 長谷川直樹 295
	慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー，多巣性運動ニューロパチー 診療ガイドライン 2024	神田 隆 311
新刊書案内 213 寄稿規定 342 読者アンケート 343 バックナンバーのご案内 344		バックナンバー購入申込書/購読のご案内 346 次号特集予告 347 編集手帳 348

著者ならびに出版社は、本誌に記載されている内容について最新かつ正確であるよう最善の努力をしております。しかし、臨床検査、薬剤の情報、および治療法などは、医学の進歩や新しい知見により変わる場合があります。また、誌面の都合上、一部解説を省略させていただいている箇所もございます。実際の診療にあたっては、最新の添付文書などの情報を併せてご参照くださいますようお願いいたします。